

令和7年度 丹波市の教育（実施計画）

人を愛し ふるさを想い
しあわせのカタチを創造できる 人づくり

丹波市教育委員会

目次

基本理念・基本方針	・ ・ ・ ・ ・ P 1
1 一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな学校教育の推進	
1 特別支援教育の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 2
2 不登校児童生徒への支援の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 2
3 外国につながるのあるこどもたちへの支援の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 3
4 一人ひとりへの相談・支援体制の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 3
2 次世代を生きぬく学力を育成する教育の推進	
1 個別最適な学びや協働的な学びの充実	・ ・ ・ ・ ・ P 4
2 時代に応じた多様な学びの創造	・ ・ ・ ・ ・ P 4
3 地域の教育資源をいかした探究学習の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 5
4 学校・家庭・地域の連携によるキャリア教育の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 5
3 豊かな心の育成と人権意識の高揚	
1 「豊かな心」を育成する学校教育の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 6
2 市民主体の人権学習の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 6
3 防災・安全教育の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 7
4 健やかな体の育成とスポーツライフの充実	
1 こどもたちの体力と運動能力の向上	・ ・ ・ ・ ・ P 8
2 学校・家庭・地域の連携による健康課題の解決	・ ・ ・ ・ ・ P 8
3 生涯にわたりスポーツに親しめる環境整備と運動習慣の充実	・ ・ ・ P 8
5 乳幼児期の教育・保育の推進	
1 乳幼児期の教育・保育の質の向上	・ ・ ・ ・ ・ P 10
2 幼児教育と小学校教育の円滑な接続	・ ・ ・ ・ ・ P 10
6 共に学び、成果をいかせる社会教育の推進	
1 生涯を通じた様々な学習機会の提供	・ ・ ・ ・ ・ P 11
2 地域主体の学びの場づくりへの支援	・ ・ ・ ・ ・ P 11
3 多様な主体と連携・協働した学習機会の提供	・ ・ ・ ・ ・ P 11
4 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	・ ・ ・ ・ ・ P 12
5 社会教育にかかわる人材の育成	・ ・ ・ ・ ・ P 12

6	家庭の教育力向上のための取組の充実	・・・・・・・・・・	P 12
7	地域の教育資源をいかした学びの推進		
1	指定文化財の保護	・・・・・・・・・・	P 13
2	歴史文化遺産を活用した学習の推進	・・・・・・・・・・	P 13
3	社会教育施設などを活用した学習の推進	・・・・・・・・・・	P 13
4	恐竜化石や氷上回廊などの地域の教育資源をいかした学習の推進	・・・・・・・・・・	P 14
5	子どもたちの文化芸術活動の環境づくりの推進	・・・・・・・・・・	P 14
8	親しみを感じる図書館づくり		
1	暮らしに役立つ図書館サービスの提供	・・・・・・・・・・	P 15
2	子ども読書活動の推進	・・・・・・・・・・	P 15
3	市民の参画と協働による図書館運営の推進	・・・・・・・・・・	P 15
9	子どもたちの学びを支える学習環境の整備・充実		
1	子どもの学びを支えるチーム学校の組織力向上	・・・・・・・・・・	P 17
2	学ぶ機会を確保する ICT 環境や学校図書館の整備と充実	・・・・・・・・・・	P 17
3	安全・安心な学校給食の提供	・・・・・・・・・・	P 17
4	安全・安心な学校環境の整備と充実	・・・・・・・・・・	P 18
5	学校の適正規模・適正配置	・・・・・・・・・・	P 18
10	教育委員会機能の充実		
1	教育情報の積極的な発信	・・・・・・・・・・	P 19
2	関係機関との意見交換と連携強化	・・・・・・・・・・	P 19
	参考指標一覧	・・・・・・・・・・	P 20

基本理念

人を愛し ふるさとを想い

しあわせのカタチを創造できる 人づくり

基本方針



豊かな人生を切り拓くため
未来を生きる子どもたちに求められる力をはぐくむ

子どもたちの発達段階に応じて、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成することに加え、多様な人々と対話と協働をしながら、これからの社会を生き抜く子どもたちの可能性を引き出します。



すべての人が自分らしく いきいきと学び
誰一人取り残さない教育を実践する

一人ひとりの多様なウェルビーイングの実現のため、誰一人取り残されず、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、誰もが違いを認めあう、共生社会の実現に向けて取り組みます。



子どもも大人も生涯を通じて楽しく学び続けることができる
地域コミュニティの基盤を支える教育を推進する

地域における学びを通じて人々の「つながり」や「かかわり」をつくり、共感的・協調的な関係性による地域コミュニティの基盤を形成するために、地域社会の担い手となる人づくりに取り組みます。

また、学校、家庭、地域で共に学び支えあう社会の実現に向けて、地域全体のウェルビーイングの向上を図ります。



丹波市のひと・もの・ことのなかで 地域を学び 考え
ふるさとを愛する心をはぐくむ

文化・芸術や、自然、歴史など丹波市にある様々な魅力に触れることができるよう、丹波市のフィールドをいかした学びの場のさらなる充実を図るとともに、地域資源をいかした学習活動を推進し、ふるさとへの愛着と誇りをはぐくみます。



新たな時代の学びを支え
誰もが安全・安心に過ごせる学びの土壌を豊かにする

将来の予測が困難な時代において、誰もがいきいきと活動し、社会の変化に応じた学びを実現するために、市長部局と連携し、安全・安心な教育環境を整備します。

また、教育委員会の機能を活性化し、市民とともにある開かれた教育行政の実現に向けて取り組みます。

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	1 一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな学校教育の推進
めざす方向性	将来を見据えて、すべてのこどもが安心していきいきと学べる学校づくりと、一人ひとりのこどもの可能性を最大限に引き出す教育をすすめます。 また、一人ひとりに適した学びの機会を提供し、協働的な学びを通じてお互いを尊重しあう共生社会の実現をめざします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
1-1 特別支援教育の充実	インクルーシブ教育システムの推進	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援をするため、特別支援教育の視点を取り入れた通常学級の授業づくりや学級づくり、環境づくりを推進する。		学校教育課
	特別支援教育研修会の実施	適切なアセスメントに基づいた指導内容・指導方法の設定についての研修を実施し、多様な児童生徒のニーズに対応した個別最適な学びの充実を図る。		学校教育課
	学校園間および関係機関との連携	多様な教育的ニーズのあるこどもが、早期から卒業後も切れ目ない一貫した支援を受けられるよう、関係機関との連携による相談・支援体制の充実を図る。		学校教育課
1-2 不登校児童生徒への支援の充実	不登校支援にかかる研修会の実施	児童生徒理解や不登校未然防止の取組、早期対応、また現在不登校状態にある児童生徒への支援など、多様な視点の研修を充実させる。		学校教育課
	校内サポートルームの充実	教室に入りづらい児童生徒が、安心して過ごせる居場所を確保し、社会的自立に向けた支援の充実を図る。		学校教育課
	丹波市立教育支援センター「レインボー」における支援の充実	将来の社会的自立に向けて、不登校児童生徒の教育機会の確保と相談体制の充実を図る。		学校教育課
	不登校関係者連絡会及び、不登校ひきこもり連絡会の実施	福祉部局や民間施設と連携し、義務教育終了後も視野に入れた、縦につながる支援の充実を図る。		学校教育課

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
1-3 外国 につながる のある こともた ちへの支 援の充実	多文化共生教育の充実及び様々な文化や言語を学ぶ交流会などの実施	すべてのこどもが互いを尊重しあい、多様な文化的背景を持つ人々と共生する心をはぐくみ、多文化共生の視点に立った人権教育を推進する。		学校教育課
	外国人児童生徒語学指導者の派遣及び自動翻訳機、多言語三者通訳システムによる支援の実施	母語支援により日本語指導が必要な児童生徒の心の安定を図るとともに、基本的な日本語力を身につけ、充実した学校生活を送ることができるようにする。		学校教育課
1-4 一人 ひとりへ の相談・支 援体制の 充実	丹波市立教育支援センター専門家チームによる相談・支援体制の充実	児童生徒や保護者、教職員が抱える不登校やいじめ、子育て、児童生徒への指導・支援など、様々な内容についての相談・支援体制の充実を図る。		学校教育課
	特別支援にかかる教育相談の実施	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を保障するため、早期からの教育相談を実施することで、本人・保護者に十分な情報を提供し、その後の円滑な支援につなげる。		学校教育課
	電話、メールによる相談や、「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」による相談窓口の活用	児童生徒の悩みや困りごとを相談できる体制の充実を図る。		学校教育課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	2 次世代を生きぬく学力を育成する教育の推進
めざす方向性	将来の予測が困難な時代において求められる資質・能力を育成するため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、こどもたちがワクワクしながら取り組む主体的・対話的で深い学びをすすめます。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
2-1 個別最適な学びや協働的な学びの充実	丹波市授業改善推進会議の実施	児童生徒が自ら課題を解決する能力を育成するため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進に向け、先進事例の紹介や協議を通して、目的に向かって自己調整しながら学習する授業を創造する。		学校教育課
	校内研修派遣事業の実施	児童生徒が主体的に学びに取り組む授業の推進のため、各校の実態に応じた助言を行い、研修会を充実する。		学校教育課
	丹波市学習定着度調査の実施	指導の成果と課題を検証し、各校の学力向上をめざした授業づくりや指導方法の工夫改善を図る。		学校教育課
2-2 時代に応じた多様な学びの創造	GIGAスクール構想推進リーダー研修会の実施	多様なこどもたちを誰一人取り残すことのないよう、個別最適な学びを保障するため、ICT機器の効果的な活用について研修を実施する。		学校教育課
	情報活用能力年間指導計画(各校)の実行	情報活用能力系統表(児童生徒のめざす姿)に基づいた年間指導計画(各校)を実行し、情報活用能力を教科の学びにいかす。		学校教育課
	学習支援システム、指導者用デジタルブックの活用推進	映像資料や教育データの積極的な活用を通して、個別最適な学びを実現する授業づくりを推進する。		学校教育課
	情報モラル教育や情報セキュリティに関する研修会の実施	児童生徒や教職員の情報モラルの理解と向上をめざすとともに、情報セキュリティの重要性の認識について学ぶ機会を設定する。		学校教育課

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
2-3 地 域の教育 資源をい かした探 究学習の 推進	たんばふるさと学、ふるさと教育の実施	地域や社会の課題に興味・関心を持ち、地域の教育資源を活用した、自分たちの住む地域の課題解決に向かう学習を推進する。		学校教育課
	「丹波市のフィールドを活かした教育ガイド」を活用した教育活動の実施	貴重な教育資源である丹波竜の化石や氷上回廊など、地域の資源をいかした学習を通して、ふるさと丹波を愛し、地域に誇りを持てる教育の充実を図る。		学校教育課
2-4 学 校・家庭・ 地域の連 携による キャリア教 育の充実	各校における学校運営協議会活動の充実・推進	各地域における育てたい子ども像、身につけさせたい力を共有し、地域・家庭・学校が連携した教育活動の充実を図る。		学校教育課
	キャリア教育の実施 (地域と連携したアントレプレナーシップ教育の充実(中学校))	児童生徒一人ひとりが、将来を見据えて主体的に判断し、目標に向かって努力する態度や能力を育成するために、兵庫県版キャリア・パスポートや丹波市版キャリアノートの活用を推進する。		学校教育課
	丹波市中高連携協議会の開催	生徒の情報交換や効果的な連携の在り方について協議し、適切な進路指導を図る。		学校教育課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	3 豊かな心の育成と人権意識の高揚
めざす方向性	家庭や職場、学校、地域などあらゆる場において、様々な価値観を持った人とつながる力などはぐくみ、豊かな人間性の育成をめざします。 また、市民一人ひとりが人権についての正しい理解と認識を深め、人権を尊重する態度や行動力を身につけ、人権が保障された社会の実現をめざします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
3-1 「豊かな心」を育成する学校教育の充実	中学生の実行委員会を主体にした「いじめ・暴力ゼロ市民運動」の実施	児童生徒が主体となり、児童生徒自身が傍観者ではなく、当事者として問題を解決していかうとする主体的な集団づくりの具体化を図る。		学校教育課
	学級経営研修会、問題行動等小中連絡協議会の実施	丹波市いじめ防止基本方針に基づく積極的な認知と、いじめなどの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な生徒指導の充実を図る。		学校教育課
	・丹波市人権教育研修会の実施 ・人権資料や実践記録の共有・活用整備	同和教育を柱と位置づけ、あらゆる人権にかかわる問題の解決に向けて、教育実践力及び専門性の向上、若手職員への実践の継承につなげる。		学校教育課
	・地域別小学校人権交流会(小・中交流)の実施 ・地域人権教育事業による中学校人権交流集会の実施	一人ひとりの個性や能力を発揮できる「共生社会」の実現に向けて、人権についての知的理解を深め人権感覚を高めることで、自他を大切に、自ら考え行動する力を育成する。		学校教育課
3-2 市民主体の人権学習の推進	・住民人権学習推進員や支援者を対象とした研修会の実施 ・住民人権学習推進員などからの相談対応や出前講座による学習会開催支援	市民主体の住民人権学習会の開催を支援し、市民の人権感覚・人権意識を高める。		人権啓発センター
	・市内各中学校区を対象とした地域人権教育事業の実施 ・市内の中学生が一堂に集まり学習する「丹波市中学校人権学習交流集会」の開催	地域の人権課題について考え、人権意識の高揚を図る。		人権啓発センター
	・事業所へ講師を派遣する「人権研修支援制度」の実施 ・事業所における人権に関する取組状況の調査及び支援策の検討	市内事業所における、人権が尊重され、働きやすい職場環境づくりをすすめる。		人権啓発センター

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
3-3 防 災・安全教 育の推進	学校防災体制の整備・充実	緊急時に有効に機能するよう各校の 危機管理マニュアルの見直しを図る とともに、具体的な活動を通して地 域や専門機関との連携をすすめる。		学校教育 課
	危機発生時に備えた実践的な活動 の推進	交通安全や日常に潜む危険につい て、児童生徒自らが予測し、適切な 判断や行動ができるよう、不審者や 水害の避難訓練において、想定など を工夫した実践的な取組を推進す る。		学校教育 課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	4 健やかな体の育成とスポーツライフの充実
めざす方向性	心身の健全な成長を実現できる生活習慣を確立し、すべての子どもが安心してスポーツを楽しみ、体力の向上を図ることのできる環境をつくっていきます。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
4-1 こどもたちの体力と運動能力の向上	体力アップサポーター派遣事業の実施	運動への興味関心を高め、体力向上や運動習慣の定着を図ることができるよう、小学校へ専門性に優れた地域人材や中学校教員を体力アップサポーターとして派遣する。		学校教育課
	武庫川女子大学と連携した丹波市体力アップ支援事業の実施	主に体づくり運動を中心に、主体的に運動する意欲や態度の育成に取り組むとともに、体力向上を図るための効果的な活動について、武庫川女子大学と連携し、研究に取り組む。		学校教育課
4-2 学校・家庭・地域の連携による健康課題の解決	基本的な生活習慣の確立	各種調査などから児童生徒の課題を分析し、児童生徒及び保護者への周知・啓発により生活習慣の改善を図る。		学校教育課
	食育推進状況調査の実施	各校における食育の推進状況を把握し、児童生徒の将来的な健康の保持増進のため、食育の充実を図る。		学校教育課
4-3 生涯にわたるスポーツに親しめる環境整備と運動習慣の充実	全国高等学校女子硬式野球選手権大会の開催	次世代の小中学生が野球を始めるきっかけや競技を継続していく目標とし、女子野球を通じたスポーツ活動の推進、地域の活性化を図る。		文化・スポーツ課
	ニュースポーツの普及啓発及びスポーツ大会・研修会の開催	各実行委員会、スポーツ協会、スポーツ推進委員など関係者と協力し、こどものスポーツ機会を創出する。		文化・スポーツ課
	こどものスポーツ環境の向上を目的とした指導者への研修会の開催	丹波市スポーツ協会や地域スポーツの関係者などと連携し、こどものスポーツ環境の向上をめざす。		文化・スポーツ課
	部活動の地域展開に向けた取組の推進	地域や家庭、関係機関と連携を深め、中学生がやりたいスポーツを継続できる環境整備を図る。		学校教育課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
------	--

第3次基本計画 基本施策	5 乳幼児期の教育・保育の推進
めざす方向性	乳幼児期の発達特性や個々の課題に応じ、教育及び保育の質を向上させるとともに、乳幼児期に総合的にはぐくまれた資質・能力を小学校の教科などの学びに円滑に接続するため、幼児教育施設と小学校のより充実した連携・協働をめざします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
5-1 乳幼児期の教育・保育の質の向上	キャリアステージに応じた幼児教育・保育研修の実施	若手保育教諭研修や公開保育研修などにより、保育者の専門性や指導力の向上を図る。		学校教育課
	保育実践コーディネーターによる巡回支援	環境構成や保育者のかかわりについて対話や助言を行い、0歳児から2歳児の保育の質の向上を図る。		学校教育課
	園内研修への指導主事の派遣	保育カンファレンスにより、こども理解を深め、保育の工夫・改善を図る。		学校教育課
5-2 幼児教育と小学校教育の円滑な接続	園小の交流活動・相互参観・合同研修会の実施	園児児童及び教職員が交流や連携をすすめ、幼児期と児童期の教育の内容や方法について相互理解を深める。		学校教育課
	「架け橋期のカリキュラム」の開発・活用	幼児教育から小学校教育への学びの連続性を重視した円滑な接続を図る。		学校教育課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	6 共に学び、成果をいかせる社会教育の推進
めざす方向性	地域の人々の結びつきや助けあい、学びあいの中で、誰もが自分らしく生活を送ることができる社会教育の推進をめざすとともに、市民・地域のウェルビーイングの向上を図ります。 また、社会教育にかかわる人材を育成します。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
6-1 生涯を通じた様々な学習機会の提供	・TAMBAシニアカレッジオープン講座・ラジオ講座の開催 ・シニアカレッジ受講生が実行委員会を組織し「希望のカタチプログラム」として企画した講座の開催	高齢期の生活課題を中心とした学びと仲間づくりの場をつくることで、生きがいを持っていきいきと暮らす高齢者をはぐくむ。		市民活動課
	・丹波市二十歳のつどい記念式典の開催 ・アトラクションを企画実施する二十歳のつどい実行委員会の伴走支援	二十歳の若者が夢や希望を語り、丹波市への愛着と誇りを感じながら参加者が互いに学びあうことで、これからの自分やまちのことを考える人をはぐくむ。		市民活動課
	身体障がい者社会学級(丹波青い鳥学級・丹波くすの木学級)の開催	身体障がい者の社会参加や活躍を促進する。		市民活動課
	生涯学習活動の成果をいかした講座の開催(たんばまなびのマルシェ)	市民が講師となり、学んだことや得意なことをいかして、講座やワークショップなどを行う機会を提供することで、市民の学びへの意欲や関心を高める。		市民活動課
	青少年育成事業の実施	青少年が、様々な人とのかかわりを通して丹波市への愛着や自己の成長を深める機会や、青少年育成に興味・関心のある市民が、こどもの成長にかかわる機会を創出する。		市民活動課
6-2 地域主体の学びの場づくりへの支援	・自治公民館活動補助金の交付 ・自治公民館担当者を対象とした研修会や交流会の実施	自治公民館活動を支援し、地域コミュニティの基盤形成を図る。		市民活動課
	・地域高齢者学級への生涯学習振興補助金の交付及び活動についての相談対応 ・地域高齢者学級連絡会の開催	高齢者の自主運営のもと高齢期における生きがいづくりや仲間づくりを支援し、高齢者の活躍を促進する。		市民活動課
6-3 多様な主体と連携・協働した学習機会の提供	・丹波市子ども会育成協議会におけるオセロ大会・自主事業の開催支援 ・子どもの手による子ども会づくり助成の事務補助	丹波市子ども会育成協議会の活動を支援し、こどもの思考力や判断力の涵養を図るとともに、会員相互の交流を深める。		市民活動課
	TAMBAまなび・ときめきフェス(生涯学習イベント)の開催	生涯学習についての理解を深め、対話を通じたつながりづくり、人づくりの推進を図る。		市民活動課
	市民や市民活動団体などの交流の場となる市民プラザ大交流会の開催	市民や市民活動団体など、多様な主体のつながりづくりの推進を図る。		市民活動課

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
6-4 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	地域学校協働活動の推進	学校(学び)を核とした地域づくり・人づくりの実現をめざす。		社会教育・文化財課
	PTCA活動の支援	地域全体でこどもをはぐくむ意識の向上をめざす。		社会教育・文化財課
	丹波市CSフォーラム・連絡会の開催	学校・家庭・地域がめざすこども像を共有し地域とともにある学校づくりや課題解決に向けた持続可能な取組を推進する。		学校教育課
6-5 社会教育にかかわる人材の育成	地域学校協働活動推進員などコーディネーター人材の育成	学校と地域をつなぐコーディネーターを育成し、学校と地域の連携を強化する。		社会教育・文化財課
6-6 家庭の教育力向上のための取組の充実	家庭教育に関する情報の発信	家庭教育に資する学びの機会を周知する。		社会教育・文化財課
	単位PTAリーダー育成支援	市内単位PTAの活動における家庭の教育力向上に役立つ情報を提供する。		社会教育・文化財課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	7 地域の教育資源をいかした学びの推進
めざす方向性	地域の資源をいかした学習活動を支援することにより、継承・発展させるための教育の推進とともに、ふるさと意識の醸成を図り、地域に誇りを持つ市民を増やします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
7-1 指定文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・黒井城跡石垣計測・調査 ・柏原の大ケヤキ(木の根橋)の治療 ・鳴神社のイチヨウ保存修理事業補助 ・慧日寺庫裏保存修理事業補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣の現在の状態を調査・把握し、傷んだ箇所を把握、今後の修理にいかす。 ・罹患部の治療や剪定を行い、樹勢を維持する。 ・建物を良好な状態で保存し管理する。 		社会教育・文化財課
	無形民俗文化財への活動補助	それぞれの無形民俗文化財が今後も継続できるように活動を支援し、後世に継承する。		社会教育・文化財課
	美術工芸品の調査	市内の未指定文化財を含めた地域歴史遺産を把握する。		社会教育・文化財課
7-2 歴史文化遺産を活用した学習の推進	神戸大学大学院人文学研究科、市島民俗資料館開館ボランティアの会との共催による歴史講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の調査成果などを広く公開し、地域の歴史に興味を持ってもらう。 ・地元で研究されている方の調査発表の場とする。 		社会教育・文化財課
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館への市内小・中学校の校外学習の受け入れ ・地域で活動されている個人・グループの協力による旧朝倉家住宅・市島民俗資料館の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館の資料を活用して地域の歴史を学ぶ場とする。 ・文化財や施設の活用を図り、見学や体験を通して地域の歴史文化を学ぶ。 		社会教育・文化財課
	埋蔵文化財の調査	埋蔵文化財の有無を確認し、遺跡の保護を行い、出土した遺物の活用を図る。		社会教育・文化財課
7-3 社会教育施設などを活用した学習の推進	青垣いきものふれあいの里・氷上回廊水分けフィールドミュージアムでの企画展の開催	自然や動植物、文化を学ぶ機会を提供する。		社会教育・文化財課
	資料館企画展の開催	丹波市の歴史を分かりやすく伝え、学ぶ機会を提供する。		社会教育・文化財課
	植野記念美術館での企画展の開催	身近な場所で、有名な作家による作品や、地元ゆかりの作家による本物の作品に触れることのできる機会を提供する。		社会教育・文化財課
	地域の学校・園との連携	鑑賞教室を通して、地域のこどもの芸術を愛する心・故郷を愛する心を養う。また、市内高校生生徒による作品展を開催することで、高校生の来館を促す。		社会教育・文化財課
	ファミリープログラム(未就学児対象:ひよこつあー・うえびでピクニック、未就学児～小学生対象:うえびファミリーDAY)の実施	展覧会会期中にイベントを実施し、気軽に美術館に来館して親子や家族で美術館に親しみ、芸術に触れあう機会を提供する。		社会教育・文化財課
	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波布伝承館14期長期伝承教室(2年目)の実施 ・糸紡ぎ・織り体験、短期教室などの丹波布体験講座の開催 ・青垣地域の学校を中心とした丹波布出前講座の実施 	国の選択無形文化財である丹波布を活用した学習の機会を通して、丹波布の魅力を広めるとともに、ふるさとへの愛着をはぐくむ。		市民活動課

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
7-4 恐竜化石や氷上回廊などの地域の教育資源をいかした学習の推進	青垣いきものふれあいの里・氷上回廊水分けフィールドミュージアムでのワークショップ及び出前講座の実施	氷上回廊をとりまく豊かな自然や文化など、地域資源に関する教育を普及する。		社会教育・文化財課
	丹波市オリジナルボードゲーム(学習教材)「TMK」の活用	丹波市の課題や魅力に気付くことや、コミュニケーション(伝えあう)、リフレーミング(違う視点で見る)、シェアリング(共有する)の力を培う。		社会教育・文化財課
	化石に関するワークショップ及びセミナーの実施	古生物学や地質学について専門性の高い講座を実施し、体験学習を通じて来館者の知的好奇心の向上を図る。		恐竜課
	小・中学校と連携し、丹波の地質や化石について学習できる出前講座など学習プログラムの実施	丹波市の大地のなりたちや、生命の進化についての教育を普及する。		恐竜課
	丹波竜化石工房の展示室の拡張及び展示物の充実	市民をはじめとした多くの人々に大地のなりたちと生命の進化を伝え、自然への興味と好奇心をはぐくむ施設を整備する。		恐竜課
7-5 こどもたちの文化芸術活動の環境づくりの推進	こどもを対象とした文化ホール事業の開催	記憶に残る質の高い文化芸術活動に触れることにより、次世代を担うこどもたちの文化芸術活動への意欲を養う。		文化・スポーツ課
	子育てアートサロン事業の開催	子育て世代の親子を対象とした事業を開催し、こどもと一緒に交流できる場を提供するとともに、家庭での文化芸術活動への関心を高める。		文化・スポーツ課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	8 親しみを感じる図書館づくり
めざす方向性	市民の知的活動の拠点としての情報提供や、多様な主体との協働による運営の推進、学校図書館や社会教育施設などとの連携により、親しみのある図書館運営をめざします。 また、こどもたちの生きる力をはぐくむため、本に触れる機会を増やし、読書習慣の定着をめざします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
8-1 暮らしに役立つ図書館サービスの提供	電子コンテンツの充実	来館せずとも暮らしに役立つ図書を利用できる、非来館型の図書館利用を促進する。		社会教育・文化財課
	レファレンス機能の広報	図書館には市民の困りごとや課題解決を支援するレファレンス機能があることを周知し、サービス利用を促進する。		社会教育・文化財課
8-2 こども読書活動の推進	こども司書養成講座の開催	読書活動のリーダーを養成し、学校や地域で読書の楽しさを伝えてもらう。		社会教育・文化財課
	学校図書館との連携	学校図書館と公共図書館が相互に連携を図り、こども読書活動を推進する。		社会教育・文化財課
	絵本作家講演会の開催	こどもが絵本に親しむ機会を提供し、図書館利用・読書活動の推進につなげる。		社会教育・文化財課
8-3 市民の参画と協働による図書館運営の推進	図書館サポーター養成講座の開催	図書館運営にかかわる市民を増やし、市民協働による図書館運営を促進する。		社会教育・文化財課
	おはなし会の開催(各館・合同)	読み聞かせボランティアがおはなし会を実施することで図書館運営に参画してもらう。		社会教育・文化財課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	9 こどもたちの学びを支える学習環境の整備・充実
めざす方向性	教職員の資質及び学校の組織力の向上とともに、こどもの学びの機会を確保し、個に応じた教育を受けられる環境と、「安全・安心・快適」な教育環境を維持し、充実させることで、こどもの学びや成長を促し、教育の質の向上をめざします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
9-1 こどもたちの学びを支えるチーム学校の組織力向上	教職員のキャリアステージに応じた研修の実施	教職員のキャリアステージに応じた研修を実施し、一人ひとりの資質能力の向上を図り、計画的な人材育成に資する。		学校教育課
	定期的な校長会及び管理職研修の実施	学校における諸課題をテーマに管理職研修を実施し、課題解決に向けた方向性を確認し、管理職のマネジメント能力の向上を図る。		学校教育課
	働き方改革・教職員の業務改善に資するための効果的な取組の実施	スクール・サポート・スタッフを継続して配置し、教職員の業務負担の軽減を図りつつ、教職員一人ひとりの業務改善に対する意識改革を図る。		学校教育課
9-2 学び機会を確保するICT環境や学校図書館の整備と充実	児童生徒用タブレット端末の更新	令和2年度に導入し、経年劣化が進んでいることからすべて更新する。		学校教育課
	クラウド型学習支援システムの導入	端末の更新に合わせて、学校外からも使用できるクラウド型学習支援システムを導入する。		学校教育課
9-3 安全・安心な学校給食の提供	学校給食費の支払督促や分納相談の実施	学校給食事業の円滑な運営及び保護者負担の公平性を図る。		教育総務課
	・地場農産物の生産時期、収穫量に考慮した献立作成 ・有機農産物の使用の推進	有機農産物や郷土料理を通して、環境を守ることや生産者への感謝の心をはぐくむ。		教育総務課

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
9-4 安全・安心な 学校環境 の整備と 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校屋内運動場等空調設備整備及びLED照明改修工事 ・小学校特別教室空調設備設置工事実施設計 ・小学校屋内運動場LED照明改修工事実施設計 	空調設備による熱中症対策、及び体育館の照明のLED化で教育に最適な環境の実現を図る。		教育総務課
	<ul style="list-style-type: none"> ・竹山小学校屋内運動場他改修及びエレベーター設置工事 ・吉見・三輪統合小学校校舎増築等工事 ・吉見・三輪統合小学校校舎改修工事 	統合後の状況に合わせて、適切な教育環境を確保する。		教育総務課
	小・中学校校舎、体育館などのトイレ洋式化及び手洗い場の自動水栓工事	感染症対策などの衛生面の向上及びランニングコストの削減を図る。		教育総務課
9-5 学校の適正 規模・適正 配置	地域合意のもと、複式学級規模となることが見込まれる学校のある地域で統合協議を行う。	地域の実情に応じて、教育的な視点から少子化に対応した活力ある学校づくりのための方策を検討する。		教育総務課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

基本方針	
第3次基本計画 基本施策	10 教育委員会機能の充実
めざす方向性	丹波市の教育について積極的に情報発信し、市民とともにある開かれた教育委員会をめざします。 教育委員が現場の状況や課題を把握することで、教育施策に反映できるよう、関係機関と連携し、社会の変化に素早く的確に対応できる組織となることをめざします。

基本施策 取組項目	令和7年度 丹波市の教育(実施計画)		令和7年度実績 自己点検・評価報告	担当課
	主な取組	目的(ねらい)	取組の成果と課題	
10-1 教育情報の積極的な発信	広報紙「教育たんば」の発行	学校の様子や教育委員会の取組を分かりやすく伝える。		教育総務課
	教育委員会LINE公式アカウントによる情報発信	広報紙「教育たんば」との差別化を図り、関連施設イベントや人材募集などについて、タイムリーに発信するとともに、ホームページと連動し市民の興味・関心を促す。		教育総務課
10-2 関係機関との意見交換と連携強化	関係団体や学校管理職などとの意見交換会の実施	関係機関との連携を図るとともに、教育行政へのチェック機能を果たす教育委員が十分に活躍できる環境をつくる。		教育総務課
	教育委員協議会の実施	教育委員がそれぞれの識見を発揮しながら、地域の教育の実態や課題についての協議を深める。		教育総務課

今後の展開・改善策	自己評価判定

外部評価者の評価	評価判定

参考指標一覧

基本施策1・2・3・4関連	単位	担当課	R6策定時	実績値 (R7)	実績値 (R8)	実績値 (R9)	実績値 (R10)	実績値 (R11)
「学校に行くのは楽しい」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 79.7 中学校 82.9					
基本施策1・3関連								
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 71.3 中学校 61.0					
基本施策1関連								
「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 88.2 中学校 90.3					
基本施策2関連								
「国語や算数・数学の授業の内容はよく分かる」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 82.3 中学校 78.4					
「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 79.7 中学校 78.1					
「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 85.0 中学校 75.6					
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 82.5 中学校 80.7					
基本施策3関連								
「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合	%	学校教育課	小84.4 中80.3 平均82.4					
いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う児童生徒の割合	%	学校教育課	小96.4 中96.7 平均96.6					
住んでいる地域は人権が尊重されていると思う市民の割合	%	人権啓発センター	48.1					
基本施策4関連								
運動が好きと思っている児童・生徒の割合	%	学校教育課	小学校 93.1 中学校 92.25					
「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普通の生活に役立てている」と回答する児童生徒の割合	%	学校教育課	小学校 79.5 中学校 79.2					
基本施策5関連								
「環境（人的・物的）の工夫、改善を行い、子ども一人ひとりが主体的に活動する保育を展開することができた」と回答する保育教諭などの割合	%	学校教育課	—					
合同研修会などを実施し、接続カリキュラムの開発や改善を図っている園・小の数	園（校）	学校教育課	—					
基本施策6・7関連								
1年間に、子どもの教育・育成に関する活動に参画した市民の割合	%	市民活動課	11.8					
学びの活動で身についた知識や技能を地域や社会での活動にいかしたいと思う市民の割合	%	市民活動課	35.1					
住んでいる地域に対して愛着や誇りを持っていると回答する市民の割合	%	市民活動課	—					
基本施策8関連								
図書館サポーターの活動実績人数	人	社会教育・文化財課	209 (1月末時点)					
基本施策9関連								
月に45時間以上超過勤務を行う教職員の割合	%	学校教育課	19.9					
学校施設が「安全・安心・快適」と回答する教職員の割合	%	教育総務課	—					
基本施策10関連								
教育委員会からの情報発信（市のホームページや広報など）は内容が充実していると思う市民の割合	%	教育総務課	33.4					

資料編

- ・ 市立学校一覧 P 1
- ・ 市立学校学級数及び児童生徒数の推移 P 2
- ・ 市内未就学児童数一覧（小学校区別） P 3
- ・ 文化財一覧（指定等文化財件数） P 4
- ・ 教育委員会事務局組織構成図（予定） P 5
- ・ 教育支援センター、学校給食センター、
社会教育施設・生涯学習施設一覧（予定） P 6

市立学校一覧

○小学校

令和6年5月1日現在

	小学校名	所在地	電話	児童数			学級数	教職員数
				男	女	合計		
柏原	崇広小学校	柏原町柏原683	72-0533	212	193	405	16	28
	新井小学校	柏原町大新屋698-2	72-0346	42	55	97	8	13
山南	上久下小学校	山南町青田156	78-0504	20	21	41	5	11
	久下小学校	山南町谷川2276	77-0607	68	41	109	8	14
	小川小学校	山南町井原427-1	77-0048	50	59	109	7	13
	和田小学校	山南町和田1	76-0002	82	108	190	9	16
氷上	南小学校	氷上町佐野530	82-0011	70	46	116	8	14
	中央小学校	氷上町成松186-1	82-1033	126	99	225	12	21
	西小学校	氷上町上新庄524	82-0204	62	45	107	8	13
	北小学校	氷上町絹山608	82-7030	60	64	124	8	14
	東小学校	氷上町石生585	82-0334	153	118	271	14	26
青垣	青垣小学校	青垣町佐治282-3	87-0043	126	115	241	14	21
市島	竹山小学校	市島町中竹田1703-1	86-0465	59	77	136	8	18
	吉見小学校	市島町上田222-1	85-0017	74	69	143	8	17
	三輪小学校	市島町酒梨205	85-0671	47	39	86	7	13
春日	春日部小学校	春日町多利1774	74-0112	39	61	100	8	13
	大路小学校	春日町下三井庄1080	75-0458	40	49	89	7	12
	進修小学校	春日町国領1011-1	75-0037	50	46	96	7	13
	黒井小学校	春日町黒井2205	74-0035	92	89	181	8	14
	船城小学校	春日町朝日90	74-0142	26	26	52	7	12
合 計				1,498	1,420	2,918	177	316

※教職員数は、県費負担教職員定数(目的加配教職員含む。臨時講師等、市費職員を除く)による。

○中学校

令和6年5月1日現在

	中学校名	所在地	電話	生徒数			学級数	教職員数
				男	女	合計		
柏原	柏原中学校	柏原町南多田1226	72-0077	147	101	248	10	25
山南	山南中学校	山南町谷川1348	88-5730	119	114	233	9	24
氷上	氷上中学校	氷上町成松103	82-1148	242	239	481	19	41
青垣	青垣中学校	青垣町小倉365-1	87-0212	72	75	147	8	20
市島	市島中学校	市島町上垣2002	85-0046	95	87	182	9	24
春日	春日中学校	春日町野村2476	74-2075	129	152	281	12	27
合 計				804	768	1,572	67	161

※教職員数は、県費負担教職員定数(目的加配教職員含む。臨時講師等、市費職員を除く)による。

市立学校学級数及び児童生徒数の推移

毎年度5月1日現在

			学級数、児童生徒数					5年度に 対する増減
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
柏原	小学校	学級	24	25	25	24	24	0
		人数	502	504	508	500	502	2
	中学校	学級	11	12	11	11	10	△ 1
		人数	285	288	256	268	248	△ 20
	計	学級	35	37	36	35	34	△ 1
人数		787	792	764	768	750	△ 18	
山南	小学校	学級	34	33	31	29	29	0
		人数	482	464	443	446	449	3
	中学校	学級	13	13	13	10	9	△ 1
		人数	225	233	249	247	233	△ 14
	計	学級	47	46	44	39	38	△ 1
人数		707	697	692	693	682	△ 11	
氷上	小学校	学級	53	53	54	51	50	△ 1
		人数	932	927	938	890	843	△ 47
	中学校	学級	18	17	18	19	19	0
		人数	465	467	473	474	481	7
	計	学級	71	70	72	70	69	△ 1
人数		1,397	1,394	1,411	1,364	1,324	△ 40	
青垣	小学校	学級	14	16	15	15	14	△ 1
		人数	279	279	266	267	241	△ 26
	中学校	学級	6	7	7	7	8	1
		人数	131	134	134	133	147	14
	計	学級	20	23	22	22	22	0
人数		410	413	400	400	388	△ 12	
市島	小学校	学級	37	37	37	29	23	△ 6
		人数	394	383	382	377	365	△ 12
	中学校	学級	8	8	8	9	9	0
		人数	211	217	190	184	182	△ 2
	計	学級	45	45	45	38	32	△ 6
人数		605	600	572	561	547	△ 14	
春日	小学校	学級	42	41	37	36	37	1
		人数	563	557	544	526	518	△ 8
	中学校	学級	11	11	11	13	12	△ 1
		人数	279	265	254	276	281	5
	計	学級	53	52	48	49	49	0
人数		842	822	798	802	799	△ 3	
合 計	小学校	学級	204	205	199	184	177	△ 7
		人数	3,152	3,114	3,081	3,006	2,918	△ 88
	中学校	学級	67	68	68	69	67	△ 2
		人数	1,596	1,604	1,556	1,582	1,572	△ 10
	計	学級	271	273	267	253	244	△ 9
人数		4,748	4,718	4,637	4,588	4,490	△ 98	

市内未就学児童数一覧(小学校区別)

令和6年4月2日時点

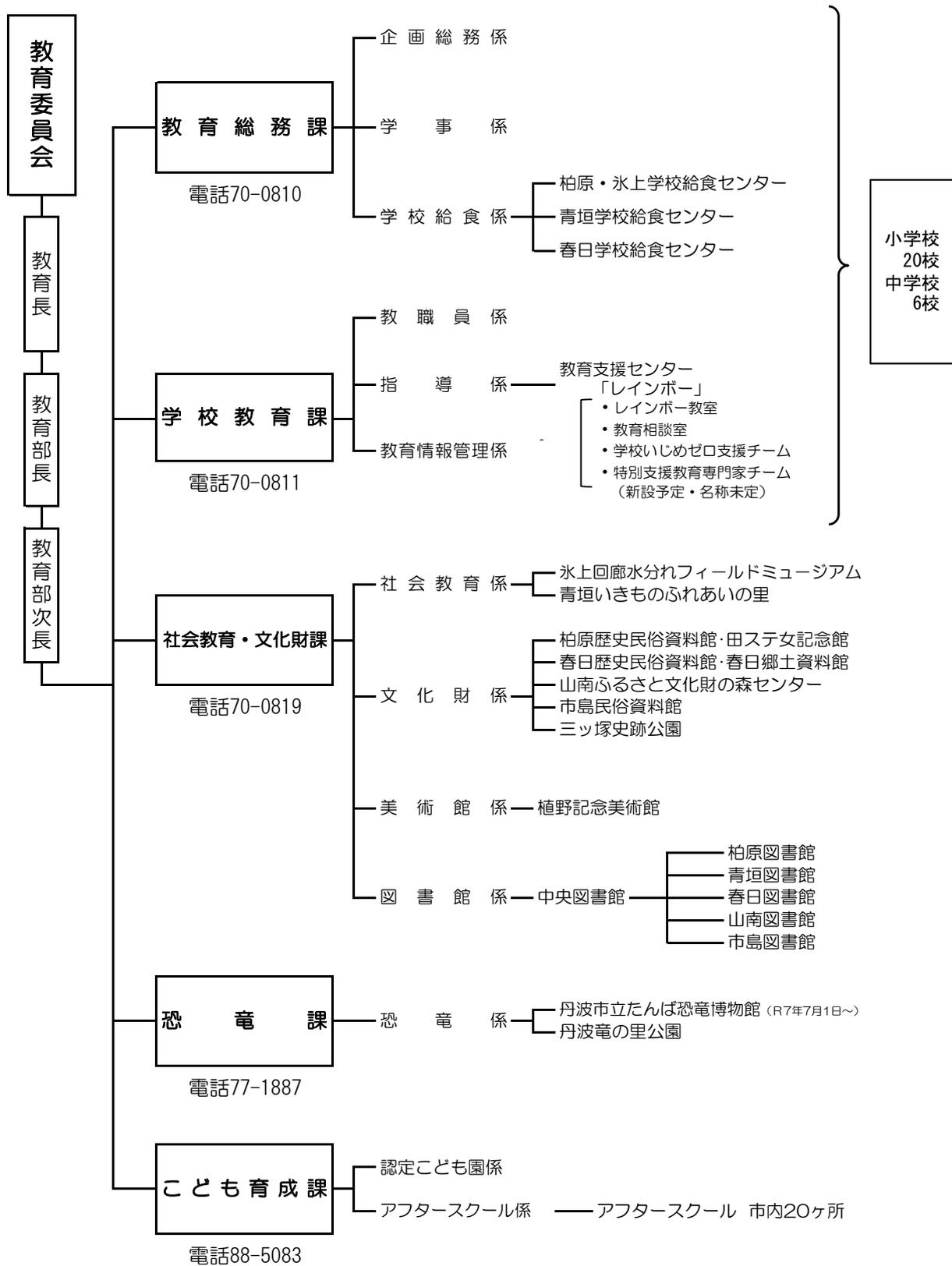
地域名	年 齢	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	生年月日 校区名	R5.4.2～ R6.4.1	R4.4.2～ R5.4.1	R3.4.2～ R4.4.1	R2.4.2～ R3.4.1	H31.4.2～ R2.4.1
柏 原	崇 広	51	54	56	49	75
	新 井	25	13	24	20	14
	計	76	67	80	69	89
山 南	上 久 下	5	2	6	6	7
	久 下	14	16	22	22	19
	小 川	9	9	11	10	11
	和 田	24	22	17	24	26
	計	52	49	56	62	63
氷 上	南	10	13	14	15	25
	中 央	34	35	36	42	30
	西	10	15	16	9	11
	北	17	15	20	19	18
	東	42	48	35	42	48
	計	113	126	121	127	132
青 垣	青 垣	24	24	27	26	27
	計	24	24	27	26	27
市 島	竹 山	7	22	23	18	17
	吉 見	14	19	17	22	21
	三 輪	8	7	12	10	12
	計	29	48	52	50	50
春 日	春 日 部	13	14	14	19	22
	大 路	6	11	12	17	10
	進 修	10	18	14	16	13
	黒 井	21	29	28	23	34
	船 城	6	1	10	5	6
	計	56	73	78	80	85
合 計		350	387	414	414	446

文化財一覽(指定等文化財件数)

令和6年12月現在

指 定 種 別	有 形 文 化 財									無 形 文 化 財	民 俗 文 化 財		記 念 物			文 化 財 保 存 技 術	合 計
	建 造 物	繪 画	彫 刻	工 芸 品	書 跡	典 籍	古 文 書	歴 史 資 料	考 古 資 料		有 形	無 形	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物		
国指定	3	1	8		2						1		3				18
国選定																2	2
国選択									1		1						2
国登録	18																18
県指定	19	4	4	7			1		2		1	4		3			45
県登録	1																1
市指定	29	20	35	28	12	1	13	3	8	1	6	15	16	4	26		217
合 計	70	25	47	35	14	1	14	3	10	2	7	17	23	4	29	2	303

教育委員会事務局組織構成図(予定) (令和7年4月)



教育支援センター、学校給食センター、社会教育施設・生涯学習施設一覧(予定)

(令和7年4月)

○教育支援センター「レインボー」

名 称	所 在 地	電話番号
レインボー教室	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-0710
教育相談室	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-3220
学校いじめゼロ支援チーム	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-0711
特別支援教育専門家チーム(新設予定・名称未定)	〒669-4141 春日町黒井1519-1	調整中

○学校給食センター

施 設 名	所 在 地	電話番号
柏原・氷上学校給食センター	〒669-3464 氷上町石生77-3	80-4050
青垣学校給食センター	〒669-3841 青垣町口塩久648-18	87-4430
春日学校給食センター	〒669-4132 春日町野村2476	70-3370

○社会教育施設・生涯学習施設

	施 設 名	所 在 地	電話番号
柏原	柏原図書館	〒669-3309 柏原町柏原5528	72-0313
	柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館	〒669-3309 柏原町柏原672	73-0177
	柏原住民センター(体育館・トレーニングルーム含む)	〒669-3309 柏原町柏原5528	72-2552
氷上	中央図書館	〒669-3602 氷上町常楽233	82-7100
	植野記念美術館	〒669-3603 氷上町西中615-4	82-5945
	氷上回廊水分けフィールドミュージアム	〒669-3464 氷上町石生1155	82-5912
	氷上住民センター(体育館含む)	〒669-3692 氷上町成松字甲賀1	82-3719
	丹波市市民プラザ	〒669-3467 氷上町本郷300	82-8682
	氷上総合グラウンド	〒669-3613 氷上町上新庄字西川3	82-0604
	大師の杜ホール(体育館)	〒669-3641 氷上町絹山346	82-8899
青垣	青垣図書館	〒669-3892 青垣町佐治114	87-1111
	旧朝倉家住宅	〒669-3811 青垣町佐治114	70-0819(社会教育・文化財課)
	俳人細見綾子生家	〒669-3801 青垣町東芦田1476番地	74-1050(文化・スポーツ課)
	青垣いきものふれあいの里	〒669-3833 青垣町山垣2115-6	88-0888
	青垣住民センター(体育館含む)	〒669-3892 青垣町佐治114	87-0363
	丹波布伝承館	〒669-3803 青垣町西芦田541-1	80-5100
	青垣総合運動公園(グリーンベル青垣)	〒669-3804 青垣町田井縄782	87-2200
春日	春日図書館	〒669-4192 春日町黒井496-2	74-1611
	春日歴史民俗資料館・春日郷土資料館	〒669-4141 春日町黒井496-2	70-0819(社会教育・文化財課)
	春日住民センター(春日文化ホール含む)	〒669-4192 春日町黒井496-2	74-0225
	春日総合運動公園	〒669-4252 春日町下三井庄735	75-1030/87-2200(プールのみ)
	春日体育センター	〒669-4141 春日町黒井496-2	74-0225
山南	山南図書館	〒669-3198 山南町谷川1110	77-0336
	旧友井家住宅	〒669-3145 山南町野坂字西山田203	70-0819(社会教育・文化財課)
	山南ふるさと文化財の森センター	〒669-3103 山南町篠場447	70-0819(社会教育・文化財課)
	丹波市立たんば恐竜博物館(R7年7月1日～)	〒669-3198 山南町谷川1110	77-1887(恐竜課)
	丹波竜の里公園	〒669-3101 山南町上滝1916	77-1887(恐竜課)
	山南住民センター・やまなみホール	〒669-3198 山南町谷川1110	77-0310
	山南B&G海洋センター(体育館)	〒669-3145 山南町野坂176-2	77-0310
	山南武道場	〒669-3145 山南町野坂176-2	77-0310
	漢方の里総合運動公園	〒669-3157 山南町和田338番地1	76-1345
市島	市島図書館	〒669-4322 市島町上田814	85-2733
	市島民俗資料館	〒669-4322 市島町上田1134	70-0819(社会教育・文化財課)
	三ツ塚史跡公園	〒669-4322 市島町上田800	70-0819(社会教育・文化財課)
	ライブピアいちじま(ライブピアいちじま大ホール含む)	〒669-4322 市島町上田814	85-3030
	市島市民グラウンド	〒669-4321 市島町上垣902-1	85-3030
	三ツ塚テニスコート	〒669-4322 市島町上田1132	85-3030
	三ツ塚ふれあいセンター愛育館	〒669-4322 市島町上田1139	85-2660
	スポーツピアいちじま	〒669-4302 市島町中竹田6121-3	86-0100

丹(まごころ)の里



丹波市

令和7年度 丹波市の教育

発行：丹波市教育委員会

住所：丹波市山南町谷川 1110 番地

(資料1)

令和7年度 社会教育関係団体補助金執行予定表

令和7年5月23日 社会教育委員の会議資料

【単位：円】

令和7年度 担当課名	団体名 (会員数)	令和7年度 予算額	令和6年度 補助金額	令和6年度 収入決算額	補助の目的	主な活動内容
市民活動課	丹波市子ども会育成協議会 (令和6年度会員数：2,941人)	100,000	100,000	429,072 (うち自主財 源の割合： 77%)	活動費補助	○オセロ大会 ・丹波市大会（7～8月頃開催） ・丹波ブロック大会（8月開催） ○自主事業の開催 ○県子連育成者大会他行事への参加 ○丹波市青少年育成事業への協力 ○理事会の開催
社会教育・文化財課	丹波市PTA連合会 (令和6年度会員数：4,021人)	260,000	260,000	1,384,551 (うち自主財 源の割合： 76%)	活動費補助	○リーダー研修会 ICTに関する研修を予定 ○PTCA活動実践交流大会 学校・家庭・地域が連携して子どもを育む 環境づくりに向けた研修を予定 ○正副会長（会計）常任委員会の開催 ○兵庫県PTA協議会行事への参加

※ 団体の活動状況を勘案のうえ、予算額の範囲内において、支出決定を行います。

※ 支出根拠要綱は、丹波市社会教育関係団体補助金交付要綱

丹波市社会教育委員名簿

任期 自 令和6年4月1日
至 令和8年3月31日

NO	氏 名	住 所	備 考
1	梅 垣 真 紀	柏原地域	
2	竹 安 今 日 子	柏原地域	
3	竹 岡 郁 子	山南地域	
4	森 奥 和 代	山南地域	
5	梅 谷 浩 子	氷上地域	
6	荒 木 伸 雄	氷上地域	
7	松 本 佳 則	氷上地域	
8	蔦 木 伸 一 郎	氷上地域	
9	橋 本 千 英	青垣地域	
10	橋 本 崇 史	青垣地域	
11	木 寺 郁 代	市島地域	
12	高 橋 典 子	市島地域	
13	足 立 ま ゆ み	春日地域	
14	細 見 勝	春日地域	
15	山 内 順 子	春日地域	

丹波市教育委員会事務局職員名簿

令和7年4月1日

役 職	氏 名	備 考
教育部長	山 本 浩 史	
学校教育課長	小 森 真 一	
恐竜課長	松 枝 満	
社会教育・文化財課長	吉 住 健 吾	
社会教育・文化財課 副課長兼社会教育係長	足 立 恵 一	
社会教育・文化財課 社会教育係	中 本 祐 史	

丹波市 まちづくり部職員名簿

令和7年4月1日

役 職	氏 名	備 考
まちづくり部長	谷 水 仁	
市民活動課長	山 崎 和 也	
文化・スポーツ課長	堂 本 祥 子	
人権啓発センター所長	早 形 繁	